



HDC

ニュースレター (報告版)

Apr / 2023
第6号

一般社団法人 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会

<https://www.hdc-2017.com/>

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 HDC からのお報告
- 3 他団体からのおしらせ

はじめに

三木次郎

みなさま

春たけなわ、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さてHDCニュースレターですが。毎月一回の予定で発行してまいりましたが、ついに力尽、1ヶ月、間が空いてしまいました。

年度の終わりから年度はじめにわたる今回のニュースレターは、情報満載です、ご高覧のほどよろしくお願いたします。

令和4年度HDC人材育成事業報告

HDC食支援講演会「暮らしと生きがいを支える食支援」

HDC理事 大友文雄

令和5年3月5日、13時より第2回HDC講演会「暮らしと生きがいを支える食支援」を開催致しました。第一部、一般社団法人日本在宅ケアアライアンス副理事長、ボストンコンサルティンググループシニアアドバイザー、元厚生労働省医政局長の武田俊彦先生、日本歯科大学教授、口腔リハビリテーション多摩クリニック院長の菊谷武先生による講演。第二部は両先生による対談の二部構成で約2時間のウェブ講習会でした。

武田俊彦先生は「薬から食へ」と題して高齢者医療の質の改善、患者中心、ケア中心の改革が必要。QOLを重視した高齢者医療にはフレイル予防が重要で、薬よりも食支援、栄養指導が大切、その実現の為には医療介護両面からの包括的ケアが有効であり専門職の連携が不可欠である。と長年医療分野、社会保障分野で広められた知見を基にご講演下さいました。

菊谷武先生は、「食べるを支える、食べられないを支える」と題して、食べることは、人間の尊厳を守り、その人を取り巻く全ての人の喜びにつながる。看取りの医療の現場における食支援は、食べられなくなっていく過程での食支援とご家族を支えることが重要な人生の最終段階の食支援である。と症例を供覧されご講演下さいました。

第二部は、本会会長三木次郎の進行で武田先生、菊谷先生にご対談頂きました。患者と家族の希望に寄り添った在宅医療は、今までの歯科医療とは大きく異なる形でありパラダイムシフトが求められている。歯科医療が在宅で必要とされている多くの方々に届くよにするには、介護等の社会保障分野にも変化が必要ではないか、との問題も提起されました。行政、訪問歯科医療の専門家による対談は、在宅医療における歯科の今後の目指すべき方向と、問題点を認識できた貴重な対談となりました。

第2回HDC講演会「暮らしと生きがいを支える食支援」 概要

日時2023/3/5 13:00~15:00

Web : ウェビナー

武田俊彦先生講演

菊谷武先生講演

武田俊彦先生、菊谷武先生対談 司会三木次郎

出席者数合計:74名(登録者97名)

歯科医師 :37名(非会員3名) 歯科衛生士:31名(非会員5名) 医師 :1名(アライアンス関連) 薬剤師 :1名(アライアンス関連) その他医療・介護・福祉の従事者:4名

参加者からの声

1、S.U.

とても素晴らしい講習会でした！

武田先生の食べる事に対する制度の変遷は知らなかった部分が多くてとても興味深く聴かせていただきました。

菊谷先生のご講演も「食べられない」に対する視点の違いや最期まで歯科はしっかり寄り添っていく職種であることを再認識できました。

それを受けてのシンポジウムで歯科のパラダイムシフトを更に深められたのがとても良かったです。

三木先生の進行もですし、最後の「好きな食べ物は？」のご質問へのおふたりの先生の返答にもほっこりしました。

胡桃餅、食べた事がないので是非調べて食べてみようと思いました。

私が宣伝してきたTwitterにも感動した、とても良い講習会だった、と書いてくれていて、嬉しくなりました。

今年度の人材育成事業は今日で終了となりますが、来年度につなげる明るい展望が見えてきたように感じます。

2、W.H.

本日のセミナーお疲れさまでした。

内容が濃くて良いセミナーだったと思います。

武田先生があれば歯科のことだけをお話になることは、この先もなかなか無いと思いますから貴重な機会でした。

このセミナーの内容がどれだけ貴重なものかに気付いてくれる人がたくさんいるといいのですが・・・

以上3月5日に行われた食支援の人材育成事業についての概要を報告しました。

4月下旬から5月中旬まで昨年度の食支援の講演（戸原玄、太田秀樹）と合わせて

ユーチューブにて公開予定です。見逃した方、ご興味ある方ぜひ閲覧お願いします。閲覧はHDC ホームページ <https://www.hdc-2017.com> を開いてWeb公開のアイコンをクリックしてください。

在宅ケアアライアンスからの報告

(アンダーライン太字、HDCが深く関与しています)

1) 令和4年度第3回定時理事会 3月22日 (水)

理事・監事21名、現地参加16名、ズーム参加5名
議事：新年度事業・予算の審議と新規加盟団体の申請など

◎新年度事業

1. 調査・研究・政策提言事業

- 1) 災害・パンデミックにおける在宅医療の連携体制の構築
- 2) 生涯を通じた健康づくりの観点からの食支援に関する先駆的モデルの検討
- 3) 小児/医療的ケア児者のための地域包括ケアの検討
- 4) 全国の地域における在宅医療・介護の連携モデルの現状把握
- 5) 在宅医療・在宅ケアに関するデータとエビデンスの収集、分析及び活用

2. 情報発信・成果発信・加盟団体間の連携強化事業

- 1) 日本在宅ケアサミット2023の開催
- 2) 多職種研修会（仮称）の開催
- 3) 広報誌「Nexus-HHC」の季刊発行
- 4) 会議、委員会、研究会等を通じた加盟団体・会員間の情報交換・交流・連携強化

◎新しい団体の加盟が、全会一致で承認されました

一般社団法人 日本在宅看護学会	山田雅子理事長
一般社団法人 日本在宅療養支援病院連絡協議会	鈴木邦彦会長
一般社団法人 全国ホームホスピス協会	市原美穂理事長

加盟団体は22社員団体になった

社員総会は、6月28日の開催

2) 日本在宅ケア・サミット2023 (7月23日開催) について

東京大学伊藤謝恩ホール、7月23日（日）13時 ハイブリッド方式で開催予定

「みんなが支えあう、あなたの在宅ケア」

募集人員：会場300名ほど、オンライン1000名程度。

3) Nexus 4月号 (Issue9) 刊行 <https://www.jhhca.jp/ニューズレター-nexus/>

・巻頭言：今号は、認定NPO法人マギーズ東京センター長・秋山正子さん
「美しく整えられたHouse は暮らし慣れたHomeとは違う」です。

・迫田朋子

「うの目たかの目メディアの目」「がん医療にも「支える」視点を」

【新連載】

・「多職種が人生を支える」

(一社) 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会会長・三木次郎

「大きな声で何度も「俺は幸せ者だ」

日本老年歯科医学会からの報告

一般社団法人 日本老年歯科医学会第34回学術大会

テーマ：生きるための、しあわせのための「くち」を守る

会期：2023年6月16日(金)～18日(日)

名誉大会長：羽村 章 (日本歯科大学生命歯学部高齢者歯科学 教授)

大会長：菊谷 武 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック・院長教授)

会場：パシフィコ横浜

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

参加登録を開始しました。詳しくは下記ご覧ください。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/gero34/static/outline>

日本在宅医療連合学会からの報告

第5回日本在宅医療連合学会大会

テーマ：今ここに求められる在宅医療の創造

緩和・難病そして薬・機械・人の融合

会期：2023年6月24日(土) 25日(日)

会場：朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター)

大会長：中島 孝 (独立行政法人国立病院機構新潟病院 院長)

早期参加登録：4/3 (月)～ 5/31 (水) 16:59

直前参加登録：5/31 (水) 17:00～ 6/25 (日) 17:00

詳しくは下記ご覧ください。

<https://site2.convention.co.jp/5jahcm>



一般社団法人

全国在宅療養支援歯科診療所連絡会

〒277-0072

千葉県柏市つくしが丘 5-7-29

大石歯科医院内連絡会サポートセンター

電話番号:04-7176-2220 FAX 番号:04-7176-2220

電子メール: kouku-care-renrakukai@jcom.home.ne.jp